

8 立体都市へのエアマスの重要性

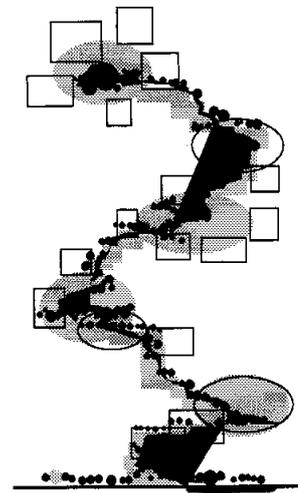
私の属する研究グループでは、地球環境問題の解決のためのひとつの方法として、超々高層建築による都市の立体化（コンパクトシティ化）を提案している。これは、簡単に言えば人工地盤を数段積み重ねてインフラストラクチャーを3次的に配置し、ここに自己完結可能な立体都市を成立させようという提案である。

先の香港の例で述べたような工場はもちろん、食品工場や浄水施設や発電所やゴミ処理施設まで、都市に必要とされるべきものは何でも取り込む、真に縦方向に伸びたパーティカルシティとなる。これは超々高層建築が林立し、それぞれが水平方向に連絡手段を持ち、地上には広いオープンスペースと人間以外の生物に返してやれる自然の環境を再生できる空中都市である。

立体都市では生活空間は効率よくコンパクトにまとめられる。人々が快適に生活するためには、エアマスを各所に分散配置し、それぞれがネットワークを組んでエアマスの効果を共有しあうことが重要となる。



立体都市のプロトタイプ



エアマスのネットワーク化